

令和8年度
高規格救急自動車
整備事業仕様書

安芸市消防本部

高規格救急自動車仕様書

第1章 総 則

1. この仕様書は、安芸市消防本部（以下「当本部」という。）が令和8年度高規格救急自動車整備事業により整備する高規格救急自動車（以下「本車両」という。）のシャシ・艤装及びその他これらに関する事項について定めることを目的とする。
2. 適合法令
本車両は、次に掲げる法令のほか、関係ある法令、通達に適合するものであって、緊急自動車としての承認が得られるものとする。こと。
 - (1) 道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）
 - (2) 道路運送車両法の保安基準（昭和26年7月28日運輸省令第67号）
 - (3) 救急業務実施基準（昭和39年3月3日自消甲教発第6号）
 - (4) 薬事法（昭和35年8月10日法律第145号）
 - (5) 救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について（昭和45年6月10日消防防第337号）
3. 納入者は、本仕様書をよく検討し十分熟知の上契約するものとし、契約後における一切の疑義は、すべて当本部の解釈に従うものとする。
4. 受注者は、契約後当本部担当者（以下「担当者」という。）と製作上の細部について十分打ち合わせの後、次に掲げる関係図書（2部）を提出し、当本部の承認を受けること。
 - (1) 製作工程表
 - (2) 製作概要図
（収納庫及び収納棚等の製作図及び取り付け図・救急資機材及び室内設備等取り付け概要図を含む）
 - (3) 車体五面図
 - (4) 電気配線図
（救急用デジタル無線装置取り付け及び配線図を含む）
 - (5) 酸素配管概要図
 - (6) 患者室内器材配置図
 - (7) 外注一覧表
 - (8) その他当本部が必要と認めるもの
5. 受注者は、本車両の製作進行に伴い、この仕様書及び承認図において疑義が生じ、仕様の変更が必要となった場合、当本部と協議の上承認を受けること。
6. 受注者は、本仕様書に基づく契約後から納入するまでの間に、新開発された救急資機材の性能が優れていると認められるものについては、新開発された救急資機材を納入すること。
また、各資機材について、納入までに処置拡大に変更のあった場合は、資機材の相互

互換を行うなど操作に支障とならないようにすること。

7. 受注者は、本車両及び救急資機材の納入までに発生したいかなる事故に対しても、その責任を負うものとする。
 8. 受注者は、新規登録前に次の関係図書を当本部に提出すること。
 - (1) 本車両完成車の前面、後面及び両側面の写真 各3葉
 - (2) 車両2面図 2部
 - (3) 車名、型式、車台番号の記載用紙 2部
 - (4) 改造自動車等審査結果通知書 1部
 9. 受注者は、本車両納入時に次の関係図書を当本部に提出すること。
 - (1) 自動車取扱説明書 1部
 - (2) 自動車整備要領書 1部
 - (3) 積載・設置救急資機材取扱説明書 1部
 - (4) その他当本部で指示するもの
 10. 受注者は、本車両納入時、車両及び救急資機材について十分点検整備を行った後、納入すること。
 11. 受注者は、本車両への取り付け艀装を必要とする救急資機材及び移設する資機材等は、車両に積載固定した状態で納入すること。

また、別に実施する令和8年度高度救命処置用資機材整備事業で納入した資機材について積載する際に固定が必要なものには、当該納入業者と連携して行うこと。
 12. 納入台数
高規格救急自動車（一般救急資機材を含む） 1台
 13. 納入期限
令和9年3月15日（月）
 14. 納入場所
安芸市消防本部とする。（高知県安芸市西浜190番地1）
 15. 車両登録番号
車両番号は当本部が要望するものとし、前後にナンバーフレームを取り付けること。
 16. 本車両を艀装する場合は、製作図面等を基に担当者と事前に十分な打ち合わせを行った後に着手すること。
 17. この救急車の艀装製作中及び納入時には次の検査を行うものとする。また、検査に関する諸経費の一切は受注者が負担するものとする。

ただし検査に立ち会う担当者の旅費は当本部が負担するものとする。
- ア. 中間検査
- 中間検査は、担当者の立ち会いのもと下記項目を実施するものとする。
- (1) 艀装工程表に基づく進捗状況の検査
 - (2) 作成承認図及び協議決定事項に基づく検査
 - (3) 組立板金溶接工作の仕上状況検査
 - (4) その他当本部が必要と認める検査

※当本部が認めるものは、製造業者の社内試験表に代えることができるものとする。

イ. 完成検査

完成検査は、すべての艤装、塗装及び装備が完了した時点で、担当者の立ち会いのもと下記項目を実施するものとする。なお、納入期限までに補修又は調整ができる余裕日数をもつこと。また、完成検査を受けようとする時は、当該検査の7日前までに書面により当本部に依頼すること。

- (1) 走行検査
- (2) 車体の構造及び艤装状況検査
- (3) 中間検査時の協議決定事項及び指示事項に基づく検査
- (4) 装備及び資機材等の作動性能の検査
- (5) 積載品及び装備品の装着架装状況並びに品数の確認
- (6) その他当本部が必要と認める検査

※公的機関の認定品又は試験成績書があるものについては、これを省略する場合がある。

ウ. 納入検査

- (1) 納入において、本仕様書に基づくほか各種検査を実施し、その結果不合格と認められた箇所については直ちに改修し、再検査を受けること。
 - (2) シヤシ、艤装附属品及び高度救命処置用資機材は、車両納入時に全て納入すること。また、員数検査を実施すること。
18. 受注者は、検収時(中間検査を含む。)不的確として指摘された箇所及び部品について、直ちに無償で取り替え又は改修を行うものとする。
19. 本車両及び救急資機材の保証期間は納入後1年間とし、特に重大な故障又は欠陥については、前記期間を越えた場合であっても、無償で修理等行うものとする。
その他の特殊装置及び一般救急資機材については、各メーカーの公表した期間とする。
20. 高度管理医療機器(生体情報モニター・除細動器等)については、適切な運用可能な体制をとれるよう、別に実施する令和8年度高度救命用資機材整備事業の資機材納入業者及び医療用具専門修理業者と連携すること。
21. 受注者は、当本部が別に指示するとおり、本車両及び救急資機材等の取り扱いについて技術指導を2回行うこと。
また、納入後においても当本部から依頼のあった場合は、取り扱いの技術指導等を行うこと。なお、これにかかる必要経費は受注者で負担すること。
22. 本仕様書に基づき、製作納入する車両及び取り付け品並びに付属品に関わる特許または実用新案等については、全て受注者において責任を負うものとする。
23. 納車時、燃料はおおむね満量としておくこと。
24. その他
- (1) 本車両の登録に関する手続き、搬入等に要する諸経費及び自動車リサイクル法に規定するリサイクル等の手続きは、全て受注者の責任において行うものとする。ただし、自動車重量税、自賠責保険料、リサイクル預託金等の登録諸費用に関しては、当本

部で負担する。

(2) 付属品には、「安芸市消防本部」及び「救急2」の名称を貼付すること。

(3) 取付品で指定場所に取り付けが不可能な場合は、担当者と協議のうえ、取付位置を変更できるものとする。

(4) 入札に関しては、当該現有車両の下取り価格を反映するものとする。

なお、別途納品明細書により当該下取り価格を明確にすること。

25. 現有車については、抹消登録等または解体届出申請手続きを行い、抹消登録証明書または解体届出証明書の原本を当本部へ送付のこと。併せて、自動車重量税及び自賠責保険料に過払いがある場合は請求事務代行を行うこと。

現有車に搭載されている消火器の処分を行うこと。

年式・車検有効期限・フロン類料金については次のとおり。

【現有車両】

年 式	平成 26 年 11 月
車 両 番 号	高知 800 さ 7557
車 台 番 号	TRH226-0013784
車 名	トヨタ
用 途	特殊
車検有効期限	令和 8 年 11 月 3 日
フロン類料金	納付済
自賠責保険期間	令和 8 年 11 月 4 日

第2章 仕様

1. 車体形状は、次のとおりとする。

- (1) 車体構造は、本仕様書によりメーカーの標準自動車を艤装するもので、構造は振動、衝撃等を十分緩衝できるボディとし、適当な防音、換気および保温のための装置を有し、走行に対して安全で、かつ、安定性を持ったものであること。
- (2) 車体は、全有蓋で密閉式構造であること。
- (3) バックドアは跳ね上げ式とすること。
- (4) 車両本体（タイヤを含む）は最新式のものとする。

2. シャシの仕様は、次のとおりとする。

(1) 車両規格

救急業務実施基準第10条の要件を満たす高規格救急自動車

(2) 主要諸元

ア 型別	高規格救急自動車
イ 全長	5,700 mm以下
ウ 全高	2,490mm以上 2,600 mm以下 ※除くアンテナ
エ 全幅	2,000 mm以下
オ 室内長	4,000 mm以上
カ 室内高	1,850 mm以上
キ 室内幅	1,600 mm以上
ク ホイールベース	3,400 mm以下
ケ 最小回転半径	6.3m以下
コ 乗車定員	7名以上
サ 駆動方式	4WD（フルタイム4輪駆動方式）
シ 変速方式	オートマチックトランスミッション6速以上
ス 車両総重量	3,500 kg未満
セ 使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
ソ 総排気量	2,400 cc以上

(3) シャシ主要装備

（主要装備品は同等程度のもので可とする）

ア ステアリング	パワーステアリング ※散光式警光灯アクティブe-deck用及びTCDオリジナルサイレンアンプ「e-deck（イーデッキ）」と連動したステアリングスイッチ搭載（フレキシブルマイク付）
イ タイヤ	ラジアルタイヤ（ゴム製タイヤチェーン含む） スタッドレスタイヤ（専用ホイール4本付） ※1.総務省消防庁消防大学校消防研究センターと（株）ブリヂ

- ストーンが共同開発した「救急車・指揮車用パンク対応タイヤ」
 ※2.タイヤ空気圧監視システム（TPMS）を装着
- ウ ホイール スタッドレスタイヤは、パンク対応タイヤ専用ホイール
- エ 空調関係 冷暖房装置については、運転席、傷病者室のそれぞれ独立して動作し、調整ができること。
- オ バッテリー 寒冷地仕様
- カ LED ヘッドヘッドランプ（オートレベリング機能付）
- キ LED フロントフォグランプ
- ク パノラミックビューモニター
- ケ 電動格納式リモコンドアミラー
- コ デジタルインナーミラー
- サ SRS エアバック+プリテンショナー&フォースリミック機構シートベルト
- シ ETC2.0
- ス フロアマット（前席・ゴムタイプ）
- セ 大型サイドバイザー（運転席・助手席）
- ソ マッドガード（フロント・リア）
- タ エントリーナビゲーション（パノラミックビューモニター用・TV チューナー無）
- チ リアフォグランプ
- ツ コーナーセンサー（フロント左右）
- テ ナンバーフレーム（盗難防止機能付）フロント・リア
- ト 停止表示版
- ナ 前後2カメラドライブレコーダーCOMTEC DC-DR652
- ニ 車輪止め 樹脂製・取手付き、車両適応品とすること。
スライドドアステップ部に固定装置を設置すること。
- ヌ 車載用消火器 助手席後方に自動車用4型消火器を設置すること。
専用固定具にて車体に固定すること。
- ネ キーレスエントリー2個・予備キー1個
- ノ 衝突被害軽減ブレーキ
プリクラッシュセーフティ（歩行者「昼」検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式）
- ハ 車線はみ出しアラート
（装備から取り外すことができれば、アラートレスとする）
レーンディパーチャーアラート
- ヒ オートマチックハイビーム
- フ 車載ジャッキ・標準工具

3. 車両艤装は、次のとおりとする。

(各艤装部品等の記載品番は同等程度のものでも可とする)

(1) 艤装に関する一般的留意事項

- ア 車体の主要構造部は、スチール製で主要接合部は溶接をし、車体の剛性化を図ること。
- イ 総体的重量軽減を図り、前、後軸荷重及び左右荷重のバランスに配慮すること。
- ウ 板金等の切断端は、危害防止のためバリ取り等を行い、丸みをつけること。
- エ 防水性及び防音性に配慮すること。
- オ 無線障害を防止する工事（アースボンディング）を施すこと。
- カ 艤装は、堅牢にして長期の使用に十分耐えるものであり、かつ、維持管理が経済的に行えること。
- キ 使用取り扱い上の安全性及び操作性を十分に配慮したものであること。
- ク 救急資機材等の取り付け艤装にあたっては、走行中生じる振動等に対する防護措置が十分されていること。

(2) 外装取り付け設備

- ア ルーフ前部及び後部の両側に散光式警光灯（大型散光式警光灯 LED・キャブ一体造形式）を取り付け、操作部は運転室に設けること。
散光式警光灯は、アクティビーコン e deck 用とする。
また、サイレンアンプは、TCD 製「e deck」とし専用ハンドマイク付とする。
- イ フロントグリル左右に LED 補助赤色警光灯（大阪サイレン製 LFA-150）を 2 個取り付ける。また、フロントバンパー左右側面に LED 補助赤色警光灯（大阪サイレン製 LFA-100）を取り付ける。操作部は上記アの散光式警光灯と連動で設けること。
- ウ 車両前部に電子サイレン兼スピーカーを取り付け、操作部は運転室に設けること。
- エ 電子サイレンスピーカー（50 ワット×2）及びモーターサイレンは、フロントグリル等、雨水の浸入に配慮して設けることとし、モーターサイレン操作部（プッシュ式・足踏み式スイッチ）は運転席及び助手席付近で容易に操作できる場所に取り付けること。（詳細は担当者と別途協議すること。）
- オ フロントパネル又はフロントグリル付近の中央に、消防章（φ150mm樹脂製）を取り付けること。
- カ 助手席（隊長席）から左後方の安全確認のため、左ドアミラー上部に補助ミラー（アウトサイドミラー）を取り付けること。
- キ 車体両側にサイドフラッシャーランプを取り付けること。
- ク 後部タイヤハウス付近に LED 路肩灯を取り付け、操作部は前照灯スイッチと兼用にしようえ、必要に応じて路肩灯のみ消灯できる構造とすること。
- ケ バックドア上部に後続車からの追突防止予防のため、補助赤色警光灯付 LED 作業灯（小糸製作所製 M230-TN10）を 2 個取り付けること。
- コ フロントステップ、左サイドステップ、リアステップにすべり止め加工を施すこ

- と。(すべり止めテープなど)
- サ 車両サイド上部に補助赤色警光灯付 LED 作業灯 (小糸製作所製M230-T N10) 右面 2 個、左面 2 個を設置すること。
作業灯のスイッチは左側・右側・後部のそれぞれ個別に運転席付近に取り付けること。
- シ バッテリーの格納は、点検が容易なものとする。全自動電子バッテリー管理器 SA-12P (ずぼら充電器) を設置すること。また、バッテリー充電用の外部入力コンセントを取り付けること。(コンセントマグネット式とし専用接続ケーブル 10m を付けること)。
コンセント配置及び配線、ケーブル等については担当者と協議すること。
- ス 左右のスライドドア及びバックドアはイーゼークローザーとすること。
- セ 車両の後方でのストレッチャー収納時に隊員等に直接排気がかからないようマフラーを右側面タイヤ間に移設すること。(患者室に排気が入りにくい構造とする)。
- ソ レスキューツール 5 点セット (バール・万能斧・シートベルトカッター・ガラスカッター・ボルトクリッパー) を適所に積載すること。
- タ バックドア開放時、警光灯と連動して点滅するバックドア停止表示灯 (LED) をドア左右下部の 2 箇所を設置すること。
- チ 現在運用中のデジタル車載無線機 (あききゅうきゅう 2) と現在運用中の AVM (指令台地図送信装置・車両動態管理システム) 機器を移設後に納車すること。
なお移設するものは無線機・AVM 本体付属品とし、その他アンテナ・配線等は新規製品を取り付けること。(電源供給できること。その他詳細は別途協議)
- (ア) アンテナ固定箇所及びケーブル配線の天井部内張りには、容易に点検ができるよう点検口を設けること。
- (イ) アンテナをボディに取り付ける場合は、鉄板加工等により補強を加え、また、アースに配慮すること。
- (ウ) スピーカー及びマイクについては、運転室と患者室の適所に設置すること。
- ※無線機・AVM 本体付属品移設の件については本市の指示する業者と連携し作業にあたること。係る費用・経費は本市の負担とし、本車両の契約内容には含まないものとする。

(3) 運転室の設備

- ア 座席は、運転席及び助手席とし、それぞれに防汚仕様のシートカバーを取り付けること。
- イ 運転室内天井部ネット収納を 2 箇所設置し、それぞれのネットの間にティッシュ・グローブボックスを設ける。
- イ 電子サイレン及び警光灯兼用アンプを、運転席及び助手席から操作容易な箇所に体裁よく組み込み、近接した箇所に隊長用ハンドマイク及び機関員用ハンズフリーマイクを取り付けること。

- ウ バッテリー容量等チェック用の電流計及び電圧計を、運転席付近に取り付けること。
- エ 助手席から、患者室が観察できるよう観察用のミラーを取り付けること。
- オ 助手席上部に、LED 灯を取り付けること。スイッチは本体に取り付ける。
- カ 前席中央部はシートレス構造とし、上部に無線機器・車両動態管理装置モニター・書類トレイ等を設置することのできる構造のセンターコンソールを設置すること。
(詳細については、担当者と別途協議すること。)
- キ 運転室に、最新式のカーナビゲーションシステム（パノラミックビューモニター用・TV チューナー無）を設置し助手席から走行中も操作出来るものとする。
- ク 運転室内のルームミラー付近に、車載用常時前後録画式ドライブレコーダーを設置すること。ドライブレコーダーのカメラは前後別タイプとし、後ろ用のカメラは患者室のバックドア等の適所に取り付けること。
(取り付け位置については、担当者と別途協議すること。)
- ケ 運転席、助手席の後部ボードに、ヘルメットなどを掛けることができるようにフックなどを取り付けること。
- コ 運転席と患者室の間を遮光カーテン等で間仕切りできるように施すこと。また容易に開閉できる仕様とすること。
- サ 運転席背面に A3 サイズの地図入れを設置すること。
- シ 助手席後方に自動車用 4 型消火器を設置すること。
専用固定具にて車体に固定すること。

(4) 患者室の設備

- ア 患者室の左側乗降口の扉はスライド式とし、傷病者等の乗降及び各種資機材の出し入れに支障のない幅、高さを有するとともに、ステップには滑り止め加工を施し、適当な照明を設けること。
- イ 患者室後部乗降口
 - (ア) メインストレッチャーによる傷病者の搬出入が安全かつ容易にできる幅及び高さを有すること。また、ストレッチャー搬入時に損傷を与える可能性のある箇所にアルミまたはステンレス製の保護板を取付けること。
 - (イ) 扉は、跳ね上げ式扉とし、取り付け部のヒンジ及びステーの補強について十分配慮すること。
 - (ウ) 扉開放時、扉の下方で夜間救急活動ができるよう、扉の内側に LED スポットライトを取り付け、スイッチは後部乗降口の操作容易な箇所に設けること。
また、バックドア内縁底面に LED バックドア停止表示灯を設置すること。
- ウ 患者室のフロア床は、防滑・抗菌・抗カビ仕様とし十分な強度及び耐久性を持ち、床張り材は水洗い及び薬品等にさらされても汚損されない材質とすること。
- エ 患者室の換気を効率的に行うため、天井又はその付近に大型の換気扇を設けること。

オ 患者室（運転室も含む。）に冷房及び暖房装置を取り付け、操作部は患者室に設けること。

カ 照明装置を次のとおり設けること。

（ア）患者室内を有効に照明する照度調節機能付き大型 LED 蛍光灯を取り付け、スイッチは患者室の操作の容易な箇所に設けること。

（イ）ベッドの頭部側に患者観察用の LED スポットライト（天井埋め込み式）を取り付け、スイッチは操作の容易な箇所に設けること。

キ 患者室の座席は、次によること。

（ア）各座席はメーカー標準仕様とし、ベッド頭部側に救急隊用、左側に 3 人以上が腰掛けできる座席を設けること。（うち 1 人は前方向きとすること。）また、それぞれに防汚仕様のシートカバーを取り付けること。

（イ）各座席には、シートベルトを取り付けること。（整理整頓用の装置を設けること。）

ク メインストレッチャーは、パワードエクステンジ（モデル 4080-SJP+モデル 4155J）とし昇降時に電動アシスト機能を有すること。枕は Soften ピロー及び TC902 とすること。

ケ ストレッチャー架台

磁気ダンパー仕様のスイング・サポート SK1 エクステンジ用を設置すること。

（ア）メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる構造の固定装置を設けること。

（イ）ベッドの左右どちら側でも傷病者の救命処置ができるようベッド架台が左右いずれにもワンタッチ操作で移動ができること。なお、この操作はストレッチャーの頭部側、足側のどちらでも操作できること。

（ウ）傷病者のショック体位等保持のため、必要に応じ傷病者の体位変換ができること。

（エ）走行時に生じる車体の振動及び横揺れ等について、十分吸収できる防振機能を有すること。

（オ）架台のロック機構（室内で CPR 等の処置を実施する際に、架台のロックが可能）を有すること。

（カ）反転スロープ及び搬入ガイドを設置すること。

コ 患者室に、収納庫及び収納棚等を次により設けること。

（ア）収納庫及び収納棚等の種別等

a 縦型収納庫（運転席後部）

扉外側上部にティッシュ／グローブボックス固定ベルト（4 連）を設置し下部に脱着可能のホワイトボード（A4 サイズ）を設置すること。

扉内側には、収納用ネットを設置すること。

収納庫内には、耐荷重 10 k g 以上の可動棚 3 段（予備棚 1 枚）と資機材固定用ベルトを適所に設置すること。

b 小型収納庫（座席下部）

- c 天井部収納庫
(右上部前後にルーサイド収納庫アシストグリップ付・左上部前はルーフサイド収納庫 LED ランプ付とし、左上部後はレザー収納袋とすること。)
 - d 引出式収納庫・引出し内衝撃材付 (右側吸引器固定装置下に設けること。)
 - e レスキュー資機材収納ボックス
(車両右側スライドドア内部等の適所に設けること。)
 - f ネット式収納棚 (天井の左前後に2箇所、右前に1箇所設けること。)
 - g バックボード収納庫 (1台分)
 - h スクープストレッチャー収納庫 (折畳みでも可)
 - i 酸素ボンベ収納庫 (大型)
 - j スチール製棚に脱着可能ホワイトボード (A4以上)
 - k 右後収納庫 (大) II型・上段: 処置トレイ付
 - l こうち医療ネット用 iPad 及びマイナ救急用タブレットが収容可能で充電できる収納庫を適所に設けること。
※上記収納庫が設置不可の場合は、右前吸引器固定装置横に3段収納庫を設ける (詳細は担当者と協議すること)。
 - m その他救急専用資機材収納庫
収納庫及び収納棚はスチール製若しくはメーカー標準装備とする。
なお、別表1~3で定める救急資機材が、合理的かつ機能的に配列され、積載収納できること (配置等の詳細は担当者と協議すること)。
- (イ) 収納庫は必要に応じて扉を設け、ワンタッチロック機構をつけること。
なお、扉開放時、扉が開放した状態で固定できる構造とし、かつ、走行中の振動及び衝撃、または内容物の移動で脱落しない構造とすること。
- (ウ) 引出しは、走行中の振動及び衝撃等で開放し、また収納物品が落下することのないよう飛び出し防止措置を講ずること。
- (エ) 輸液ビン、薬剤、パック及び留置針等の収納庫は、盗難防止のための施錠装置を設けること。
- (オ) 救急資機材のうち、小物を機能的に収納できる専用の小物庫を設けること。
(センサー類凡用ポケット・患者回路 (蛇管) 等収納庫)
また、モニター等の配線類、マスク、チューブを掛けておく C 型バネ付フックを5個以上取り付けることとし、取り付け数量は担当者と協議すること。
- サ 汚物入れ
汚物缶を収納庫に組み込み、必要に応じて取り出しができること。
また、汚物入れの蓋は、足踏み式で開閉できること。
- シ 自動式人工呼吸装置及び酸素吸入装置 (車両取付タイプ) の取り付けについては、次のことに留意し設けること。
- (ア) 酸素供給接続口 (ソケット) を当本部で指示する位置に取り付けること。
- (イ) 酸素ボンベ収納庫から酸素供給接続口 (ソケット) までの酸素配管は、車内に露

- 出しないよう配管するとともに、点検が容易であること。
- (ウ) 酸素ボンベ（アルミ 9.40型以上）は、減圧弁付きで、専用の収納庫に常時 2 本積載固定され、ボンベのそく止弁開閉にあたっては、患者室から容易に操作できること。
- (エ) 酸素ボンベ固定装置はボンベ交換の取り外しが容易な構造とすること。
- (オ) 酸素吸入装置はオキシパック OX-3S ヨークバルブ仕様（ジュンロン型 2 口 + 川崎型 1 口）とすること。
- ス 自動体外式除細動器（ZOLL X シリーズ・キャリーケースプレミアム付）は、車内に固定し容易に持ち出しができるように専用固定台を既存の車両から移設すること。
- セ 患者監視装置は、患者室内の固定装置に固定し、必要に応じて取り外しができること。
- ソ 輸液ビンホルダーを、天井付近及びストレッチャー上部付近に設けること。
- タ 右側メインストレッチャー頭付近に電動吸引器パワーミニック II 積載固定装置を設けること。また、固定した状態で充電できる装置を設け、付近に吸引カテーテルを収納する筒を設けること。（配置等の詳細は、担当者と協議すること。）
- チ 患者室の右側前後のルーフサイド収納庫下部にアシストグリップを設置し、中央部天井に延長アシストグリップを取り付けること。
- ツ ハイバックシート下部に、予備 20 酸素ボンベ搭載装置を取り付けること。
- テ 患者室の適所に網棚を取り付けること。（天井部等）
- ト 患者室の視認性の良い場所にアナログ時計とデジタル電波時計、温湿度計を取り付けること。
- ナ 患者室内の左側面窓ガラス（スライドドアを含む）は、QQ スクリーンとしスイッチ操作にて調光フィルムを操作できるものとする。なお、後面窓ガラスは下方 3/4 をくもりフィルムとしカーテンを設置すること。患者室右側面ガラス（スライドドアを含む）は、車両外部から内装が見えないようにガラス内側全面を「白色」フィルム等で覆うこと。
- ニ バックドア窓の内側に、（株）アイテックスの救急車用ブラインド型車両搭載情報板スーパーワイドサイズ BTS-48-SWR-256-3-LTL-1102-F を設置し、コントローラーは運転席及び助手席から操作容易な箇所に設置すること。
- ヌ こうち医療ネットの携帯タブレット（iPad）を患者室右側の運転席に近い場所に設置できるようにすること。（充電ができるよう配線工事等も含む。）
- ネ 携帯電話（充電器）を患者室の適当な位置に設置できるようにすること。（配線工事や設置位置などの詳細は担当者と協議すること。）
- ノ LUCAS3 固定装置
- 助手席後部にパーテーションボード、患者室側に 1 段収納庫 I 型タオル掛け付（D111-SL16）を設け、その上に自動心臓マッサージ器（LUCAS3）を固定するスペースと固定ベルトを設置する。また、LUCAS3 を固定したまま充電できる装置を備える。

LUCAS3 固定装置の上部に汎用スチールプレートを設置する。

LUCAS3 固定装置の横の適所にウェルパス（10）収納庫を設置すること。

ハ 次の救急資機材等は、走行中の振動及び衝撃等によりがたつきまたは移動しない収納庫内に、マジックバンド並びに固定金具等を取り付けること。

（ア）スクープストレッチャー（折畳みでも可）

（イ）陰圧式固定具

（ウ）バックボード一式

（エ）その他当本部で指示するもの

ヒ バックドアを閉める際の補助として、内側に長さの異なるストラップを2個取り付けること。

フ 患者室の適所に輸液ポンプ取り付けパイプと設置すること。

(5) その他の設備等

ア 運転席より全扉の施錠及び解錠ができるよう、集中ドアロック装置を設けること。
また、患者室の各ドアには、半ドア防止装置を設けること。

イ スロットルを運転席に設けること。

ただし、車両の構造上バッテリーの電圧低下によるアイドリングアップ装置がある場合又は自動式の場合は除く。

ウ ヒューズボックスを増設する場合は、一箇所に集中し設けること。

エ 乗降口（運転室、患者室）で、ボディ損傷の恐れがある部分には保護処置をすること。

オ サイレンアンプの音声合成のメッセージの発生は、ウインカー及びバックギヤーと連動させること。（エンジン始動時 OFF で設定）

なお、バックの場合は、ブザーでも可とするが、運転席において ON、OFF の単独切り替えスイッチを取り付けること。

カ 各座席の適当な箇所には、ハンドグリップを取り付けること。バックドア開口部左側に乗降用のグリップ（長タイプ）を取り付けること。併せてサイドシート下部収納庫面にも乗降用グリップを取り付けること。

キ 運転席、助手席及び患者室各座席シートは、清掃を容易にするため耐久性のある防汚仕様のシートカバーとすること。

ク 運転席から操作の容易な箇所に電子サイレンの操作スイッチを増設すること。

第3章 塗装及び記入文字等（詳細は担当者と協議する）

※令和8年度高規格救急車自動車整備事業車両デザイン案①・②参照

1. 車体の塗装は白色とし、錆落とし及び清掃等を完全に行った後、上質塗装で入念に仕上げをすること。

2. 車体周辺に縦幅約7cmの赤帯カッティングシートを施すこと。（後面及び側面については、再帰性に富んだ反射材シートとする）

前面の赤帯は再帰性に富んだ反射シートとせず、赤帯の下に沿って、白帯の再帰性に富んだ反射材シートを施すこと。

(参考品：3M ダイヤモンドグレード反射シート PX9472 別途協議する)

3. 車体の両側面及び後部の適所に「安芸市消防署」と青文字再帰性反射素材で記入すること。「安芸市消防署」の下に赤文字再帰性反射素材で「*AKI CTIY FIRE DEPARTMENT*」と記入すること。なお、記入は左から右とし、字体は角ゴシック体斜体とする。
4. 車体両側面に青色再帰性反射素材でパラメディックマーク（スターオブライフ）を適所記入すること。
5. 車両前後面の適所に「高知県」・「安芸2」青文字再帰性反射素材で記入すること。文字は角ゴシック体斜体とする。
6. 両側面上部に青文字再帰性反射素材で「*EMERGENCY MEDICAL SERVICES*」、車両後面上部に青文字再帰性反射素材で「*AKI FIRE DEPT CALL119*」と記入すること。なお、記入は左から右とし、文字は角ゴシック体斜体とする。
7. 車両両サイド後部の窓に白文字再帰性反射素材で「*One Big Family Kochi*」と記入すること（担当者指示のデザインのイラストを提示する。デザイン案②参照）。
8. 車両全周下部に白色と青色の再帰性に富んだ反射シートで市松模様の帯を施すこと。なお、後面の白色部分は再帰性に富んだ反射シートとしないものとする。
9. バックドア開放時、警光灯と連動して点滅するバックドア停止表示灯（LED）をドア左右下部の2箇所の内側に再帰性反射素材の赤帯を施すこと。
10. 車両への文字記入及びデザインについては添付資料車両デザイン案を参照すること。
11. 銘板等
 - (1) スイッチ類には、名称及び「入～切」又は「ON～OFF」の表示をすること。
 - (2) 計器類及びパイロットランプには名称を表示すること。
 - (3) 各収納庫扉のうち、指定したものは収納機材の銘板を貼付すること。
 - (4) ベッド等操作が必要なものは、操作方法等を表示すること。
 - (5) ヒューズには各々その旨の表示をすること。

第4章 車両設置・積載救急用資機材

1. 法令等の遵守

車両設置・積載救急用資機材等は、薬事法（昭和35年法律第145号）に適合し、かつ、救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知）を遵守したものでなければならない。

2. 提出書類

- (1) 受注者は、仕様内容について当本部と打合せを行い、十分協議すること。
- (2) 納入時に下記の書類を当本部に提出すること。

ア 保証書

イ 取扱説明書

ウ その他当本部が指示するもの

3. 購入物品

別表1・2のとおり。

(別表3については、令和8年度高度救命処置用資機材整備事業にて別途購入する。)

4. 保証期間

保証期間は納入後1年間とし、1年以内に生じた障害で受注者の責任とみなされるものについては、速やかに修理修復すること。また、重大な故障で製作上の責任と判断される場合は、受注者は上記期限を経過したものであっても、当本部と協議のうえ無償にて取り替え又は修理修復すること。

5. その他

(1) 本仕様書に明記した資機材等はすべて最新製造とし、入札後に最新の認可等があった場合は、当本部と協議し納入に努めること。

(2) 本仕様書について疑義が生じた場合は、協議するものとする。

(3) 公表している標準取付品及び付属品等は全て納入すること。ただし、本仕様書で指定しているものと重複するものについては除くことが出来るものとする。

また、本仕様書に記載が無い事項でも、運用に当然必要なものについては付加すること。

(4) 資機材の積載(位置、方法、配線等)については、担当者と細部にわたり十分な打ち合わせをすること。

第5章 その他

1. 対空標示を、下図のとおり天井に青文字反射素材で標示すること。

安芸
2

文字の大きさは、50 cm角、角ゴシック体とすること。

天板等の関係で、上記大きさの表示ができない場合は、担当者と協議の上、大きさ及び配列を決定し標示すること。

2. こうち医療ネットの救急車内カメラシステムを、担当者と協議し、当本部所有の現行車両から移設すること。その際、配線類はできる限り患者室に露出しないよう配慮すること。

※ これについては、当本部が高知県健康政策部医療政策課と協議し県が指定した業者と連携し移設すること。この件に係る費用・経費は県の負担とし、本車両の契約内容には含まないものとする。

3. サブストレッチャー、手洗い装置は不要とする。

4. その他詳細事項については、当本部と協議すること。

第6章 添付資料

1. 車体標準取り付け品及び附属品一覧 別表 1
2. 車両設置・積載救急用資機材一覧 別表 2
3. 高度救命処置用資機材一覧 別表 3
4. 令和8年度高規格救急車自動車整備事業車両デザイン案①・②

別表 1

車体標準取り付け品及び附属品一覧

車両装備

分類	品名	数量	規格
車 両 装 備	フロント消防章	1個	150mmΦ樹脂製
	消防本部文字入れ等	必要数	再帰性反射材（対空表示含む）
	赤帯	一式	再帰性反射材（縦幅約7cm）
	レスキューツール5点	一式	
	フロントステップ	一式	アルミ縞板・すべり止めテープタイプA
	リアバンパープロテクター	一式	ステンレス製
	セフティウオーク タイプA	一式	リアステップすべり止め
	サイドステップ	一式	アルミ縞板・すべり止めテープタイプA
	サイドフラッシャーランプ	一式	
	フロントコーナーセンサー	一式	
	路肩灯（メインスイッチ付）	一式	車体両側下部に取り付け LED仕様
	フロントバンパーにフォグランプ	一式	
	患者室右側ガラス全面フィルム貼り（内側白）	一式	全面白色フィルム
	患者室左側面ガラスQQスクリーン	一式	上方調光フィルム・下方1/2以上をくもりフィルム
	患者室後面ガラスくもりフィルム	一式	下方3/4以上をくもりフィルム
	バックドアカーテン	一式	
	助手席アウトサイドミラー	一式	助手席にアウトサイドミラー（補助）
	運転席・助手席サイドバイザー	一式	大型
	バックブザー取り付け（メインスイッチ付）	一式	シフトレバーRレンジに連動
	車外作業用LEDライト	一式	両側前後4箇所・バックドア上部1箇所（LED補助警光灯とセットタイプ、大阪サイレン製LIA-200同等品）
	ETC2.0	一式	音声メッセージ式 2030年問題対応機種
	ドライブレコーダーCOMTEC DC-DR652	一式	前後2カメラタイプ （ドラレコ対応32GBメモリーカード1枚追加）
	カーナビゲーション	一式	最新式ナビ パノラミックビューモニター対応・TVチューナー無
	リアワイパー	一式	
	アルミホイール	一式	メーカーオプション
	マッドガード	一式	フロント・リア
ナンバーフレーム	一式	フロント・リア（盗難防止機能付）	
衝突被害軽減ブレーキ			
オートマチックハイビーム			

警告装置

警告装置	赤色警光灯（大型散光式・フロント）	一式	キャブ一体式（LED）
	赤色警光灯（大型散光式・リヤ）	一式	キャブ一体式（LED）
	赤色LED補助赤色警光灯 （フロントグリル・フロントバンパー側面）	一式	大阪サイレン製 LFA-150×2 灯 （フロントグリル取付） 大阪サイレン製 LFA-100×2 灯 （フロントバンパー両側面取付）
	赤色LED補助赤色警光灯 （車両サイド上部・バックドア上部）	一式	補助赤色警光灯付 LED 作業灯（小糸製作所製M230-TN10）（右左・バックドア各2灯）
	モーターサイレン取り付け	一式	スイッチ取付け込み
	モーターサイレンスイッチ増設取り付け	一式	インパネ中央部
	モーターサイレン自動吹鳴リレー	一式	
	標準電子サイレン	一式	標準サイレンアンプレス選択
	サイレンアンプ（TCD製） 音声合成・コンフォードモード付き	一式	N160-CP01[e deck] N350-CP01 ステアリングスイッチフレキシブルマイク付
	サイレン音プッシュスイッチ取り付け	一式	中央部及びハンドル付近 2箇所
	音声メッセージ用スイッチ取り付け	一式	中央部及びハンドル付近 2箇所
	右左折メッセージ用スイッチ取り付け	一式	中央部
	救急車用ブラインド型車両搭載情報板	一式	（株）アイテックス製 スーパーワイドサイズ BTS-48-SWR-256-3-LTL-1102-F

運転室内

運転室内	デジタルインナーミラー	一式	カメラ洗浄機能付
	電流計・電圧計	一式	運転室上部
	助手席上部LED灯	一式	M310-HM11
	運転室天井収納用ネット・ティッシュ/グローブボックス	一式	運転席の天井左右に収納ネット・真ん中にティッシュ/グローブボックス
	助手席用インナーミラー	一式	
	住宅地図・携帯無線機等用コンソールボックス	一式	D110-CT15（A3サイズ地図が収納できること）

収納関係

収納関係	患者室資機材収納庫及び収納庫	一式	仕様書による
	ディスクグローブホルダー	適量	担当者との協議による
	ティッシュボックスホルダー	適量	担当者との協議による
	ディスクマスクホルダー	適量	担当者との協議による
	ルーフネット左前後ロングセット及び右前	一式	
	C型バネ付フック取り付け	適量	運転室、患者室右側窓上レールなど

その他患者者室内装備

その他患者者室内装備	ホワイトボード (A4以上)	一式	脱着式 (強力マグネット等)
	アシストグリップ	一式	天井アシストグリップ延長タイプ 右側前後ルーフサイド収納庫に設置
	バックドアグリップ	一式	長タイプ サイドシート下部収納庫面も含む
	間仕切りカーテン	一式	ルーカス3用固定装置対応
	患者灯調光器	一式	
	室内蛍光灯調光器	一式	
	アナログ時計	一式	視認性の良い場所
	デジタル電波時計	一式	視認性の良い場所
	温湿度計	一式	視認性の良い場所

搬送用装備

搬送用装備	メインストレッチャー (パワードエクスチェンジ TC4048-SJP)	一式	(アンダーキャリッジ#4048-SJP+ストレッチャー#4155SJ) (サイドアームプレートカバー2枚・ガードル架付・予備バッテリー1個追加)
	サイドアームプレート (#4115用)	一式	左右カバー (IVボールポケット付)
	リリースリンゲージシステム	一式	左右付
	ガードル架マウント増設	1個	傷病者右足側取付け
	ガードル架 (IVポール)	2本	ガードル架
	バイオセーフストラップ (患者固定ベルト)	4本	1ピース メタルバックル グレー
	防振ベッド (エクスチェンジ用)	一式	スイング・サポートSK-1 (左右スライド機能付・反転スロープ・搬入ガイド付) R410-FB14+R610-FB-12
	ストレッチャー用マットレス	一式	ブラックマットレス3インチ 359-13-3
	スクープストレッチャー&バックボード 固定装置	一式	同じ箇所に収納が望ましい
	ストレッチャー用枕	一式	Soften ピロー 固定ベルト (黒) 含
	ストレッチャー用枕	一式	TC902

機器取り付け

機 器 取 付	吸引器取り付け	一式	パワーミニックⅡ用
	吸引カテーテル保持パイプ	一式	
	酸素ボンベ アルミ 9.40 (2本)	一式	並びに固定用受け皿
	酸素吸入装置取り付け (ヨークバルブ仕様)	一式	オキシパック OX-ⅢS (ジュンロン型 2口+川重 1口)
	患者監視装置取り付け	一式	日本光電ベッドサイドモニタ
	人工呼吸器取り付け	一式	アンサーLight 用
	輸液ビンホルダー (天井)	一式	天井アシストバー取り付け
	輸液ビンホルダー (後)	一式	ストレッチャー上部付近
	輸液ポンプ取り付けパイプ	一式	患者室適所
	自動心臓マッサージ器取り付け	一式	LUCAS3 の車内充電可能
	※ZOLL-X シリーズ (低台座)	一式	現有する救急自動車 (救急2) から移設

電源用装備

電 源 用 装 備	DC12V 出力コンセント 3口取り付け	一式	右窓部
	AC100V インバーター出力コンセント	一式	運転室及び患者室の適所 当本部との協議による (10口程度)
	全自動電子バッテリー管理器取り付け	一式	SA-12P
	AC100V 電源自動切り替え改造	一式	
	DC12V 電源自動切り替え改造 (携帯電話+室内蛍光灯+医療機器コンセント+生体情報モニター)	一式	
	77E インバーター	一式	
	外部入力マグネット式コンセント取り付け	一式	リアバンパー・専用外部入力ケーブル 10m付
	車両及び各電装品に必要な予備電球及び予備ヒューズを装備	一式	

通 信

通 信	無線機・AVM 機器本体及びモニター移設	一式	現有車より移設
	無線機アンテナ増設	一式	デジタル対応
	無線機アンテナ配線	一式	デジタル対応
	無線機取り付け用汎用金具	一式	運転席/助手席中央部
	無線モニター用スピーカー	一式	患者室内 ON/OFFスイッチ
	無線モニター用スピーカー	一式	運転室内 ON/OFFスイッチ
	こうち医療ネット車載カメラシステム移設	一式	現有車より移設
	無線機子機用 6芯線通線+プレート	一式	
	小型収納庫	一式	運転室内 デジタル無線機収納

その他付属品等

その 他 付 属 品 等	フロアマット	一式	ゴム製
	スタッドレスタイヤ（専用ホイール付）	一式	4本
	タイヤチェーン	一式	ゴム製
	三角停止板	一式	2個
	車輪止め	一式	2個一組 紐付
	非常信号灯	一式	LED 非常信号灯
	キーレスエントリー	一式	標準装備
	消火器	一式	標準装備の4型自動車用消火器
	ゼンリン社住宅地図	1冊	安芸市/芸西村 最新版A3サイズ

車両設置・積載救急用資機材一覧

別表2

	品名	数量	規格
観察用資機材	電子血圧計	一式	エレマーノⅡ血圧計 (収納袋含む)
		一式	エレマーノⅡ血圧計 腕帯ナイロンM
		一式	エレマーノⅡ血圧計 腕帯ナイロンS
		一式	エレマーノⅡ血圧計 腕帯ナイロンSS
		一式	テルモ電子血圧計 (手首式血圧計)
	体温計	1個	電子体温計 低体温測定可能なもの
		2個	電子体温計 実測・予測式 抗菌・防水仕様 電池交換可能なもの
1個		電子体温計 非接触式MT-550 (日本製)	
呼吸管理資機材	電動吸引器	一式	パワーミニックⅡ AC電源コード、予備吸引ボトル一式・予備PESSフィルター・予備フィルターケース含む
	JMS吸引カテーテル	各50本	ストレートコネクタ サイズ: 10Fr・18Fr
	※人工呼吸器	一式	アンサーLight (別事業で購入)
	経口エアウェイ	各10個	(パーマン氏 サイズ大・中・小)
	経鼻エアウェイ	各10個	(PORTEX サイズ6mm・7mm)
固定・搬送用資機材	スクープストレッチャー	一式	ファーノ社製 モデル65EXL ピン付きタイプ スクープエクセル (両側長さ調節可能ベルト含む)
	スクープストレッチャー用 ヘッドイモビライザー	一式	ファーノ社製 モデル445-SP ヘッドサポート付
	バックボード用 ヘッドイモビライザー	二式	ファーノ社製 モデル445
	NSYバックボードストラップ	6本	バックボード固定用ベルト (両締め)
	NSY多目的イモビライザーバック	2個	バックボード附属品収納バック
	布担架	一式	ターポリン担架 足袋付 TT-1044-006
	※減圧式固定器具	一式	バキュームスプリントセットWVS-7700 部分固定用スプリント ※この資機材は現有する救急車から流用する。
	ネックカラー(成人用・小児用)	一式	レールダルステップネックセレクト (各10組)

	ストレッチャー用レインカバー	一式	レインカバー オレンジ (収納可能) FW-1901-142
その他	<u>※ルーカス3</u>	一式	心臓マッサージシステム ※別事業で購入

編集日

・令和8年4月3日